

# 沖田町会報

No.37

発行責任者 岡田 徳美  
編集責任者 松永 正典

## 今年の

# 十大ニュース

今回の会報は、年末に当たり「今年の十大ニュース」風にまとめてみました。

### 沖田町

#### 1 町民大運動会で 沖田町チーム優勝

9月3日、西中グラウンドで行われた新屋町民大運動会、第50回という記念の大会で、持ち前のチームワークとパワーを遺憾なく発揮、会長の宣言通り、堂々の優勝に輝きました。競技によってはやや苦戦する場面もありましたが、万全のリカバリーで、2位の日の出町チームに



優勝旗に満面の笑顔 !!

1.2ポイント差をつけて1位単独優勝を手中に収めました。



午後の決戦に備え腹ごしらえ

絶好の運動会日和と思われましたが、途中にわか雨に見舞われ、昨年の悪夢(雨により途中で終了)が脳裏をよぎりましたが何とか持ちこたえ、参加者みんなで和やかにお昼を頂いて、いよいよ最終競技の年齢別対抗リレーに向かうことに。

小学4年生女子の参加者がなく、よもやの借用メンバーでのレースでしたが、最終走者が2位でゴール！優勝を確実にした瞬間でした。忙しい中参加していただき、最後まで全力で頑張ってくれた皆さん、また応援していただいた皆さん、ありがとうございました。

#### 掲示板の寄贈



公益社団法人秋田青年会議所から、掲示板2基を寄贈していただきました。早速6班の沖田町内会館近くと、14班の一本木公園に設置いたしました。様々なお知らせ、ポスターなどを掲示し大切に使用していきたいと思っております。ぜひご確認ください。

#### 2 町内に続々と 新築家屋

今年度、前野町を中心に続々と新しい家が建っています。六班に五棟、二十一班に十棟、十六班に十二棟、建築中も含め、計二十七棟を数えます。実際には出入りがあります。現在、当町内会は四八九戸となり、比内町に続き新築で二番目に大きい町内会になっています。戸数の増加こそ沖田町の勢いの源と言えましょう。



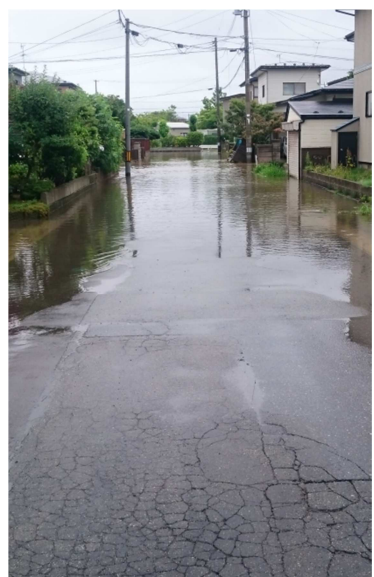
一方、それに伴い、構成数が実に四十戸を超える班が出る現し、班長さんの負担が大きくなり、班編制の見直しが必要の課題となっています。

#### 3 新しい会則の下 新体制スタート

平成二十八年四月の総会で、町内会々則が改訂され施行されましたが、実質的に今年度がこれに基づく最初の組織作りとなりました。具体的には、環境衛生部と交通災害部が統合し「環境安全部」となり、部が一つ減りました。一方で部長を支えるため副部長を増員し、若干名の部員という役割を設け、組織の強化を図りました。大きくなった沖田町を機能させる新しい組織の誕生です。この一年、役員の皆様方には、立て込む行事の中で大変よくやっただけありがたいとございました。

#### 4 沖田町始まって 以来の洪水被害

7月22、23日に降った大雨で、秋田県では住宅・農地の浸水等、大きな被害がありました。当地区においても、市民の憩いの場である带状公園が水没し消防車3台で排水したこと、また大森山下の旧国道が、今もって一方通行であること等みれば、大きな出来事でした。



我が町内でも、南団地との境をなす大きな水路が氾濫、十五班と十八班の間の道路が冠水し、駐車場に水があふれ床下が浸水し、あわや床上へという事態になりました。「こんなに水が上がったのは初めて見た」と、町内創始の頃から住んでいるという方々も驚いていました。

#### 5 鹿嶋祭今年の 人形はスナフキン



青年部(いつまで経っても青年部)が毎年心を込めて作っている、鹿嶋祭の山車の上に乗る人形を楽しみにしている方も多かろうと思えます。第19作目となる今年度は、ムーミンファミリーの中で渋くてカッコイイスナフキンでした。人形の隣に掲げた標語は「なれるかな 人の気持ちのわかる人」。子供達を見守る大人の優しい視線を感じさせました。

#### 6 長年の功労に感謝 沖田町敬老会開催



10月10日、「沖田町敬老会」を開催しました。長年の功労に感謝し、芸能で楽しいひとときを過ごしました。これからもますますお元気にお過ごし下さい。





### 町内会館へ篤志寄付

◎薄縁畳 2枚  
 ◎夏座布団10枚 13班 門松畳屋さんから  
 ◎音響機器一式 1班 小野 均さんから  
 ◎長机 七脚、椅子 三六脚 12班 高橋俊彦さんから  
 ◎追加で、長机 三脚、椅子 四脚 前会長 加藤勝夫さんから

大切に使用させていただきます。大変ありがとうございます。



### 新屋ばやしコンクール 沖田町チーム優勝

沖田つ子 今年の快挙は、町内対抗新屋ばやしコンクールの優勝でした。町内会館で、周りから「ヤカマシイ」と言われながらも、ひたすら練習を繰り返して、ついに到達した頂上です。写真からあふれ出るみんなの笑顔がすべて物語っています。おめでとう!!

とここで、この写真の中央に袴を着ている町内会副会長小野均さん(一班)が、この度日吉神社の責任役員に就任されました。責任役員は六人で構成され、神社の行事・祭事

### 新年会開催のお知らせ

各戸配布でもお知らせしておりますとおり、左記のように沖田町新年会を開催いたします。新しい年を寿ぎ、沖田町内の発展を願うとともに会員の絆を深め、有意義な意見交換の場といたしましょう。

今年、カラオケで盛り上がる予定です。追加の参加申し込みは役員までお願いいたします。

\*日時 平成30年1月13日(土) 17時  
 \*場所 沖田町会館  
 \*会費 男性 千円、女性 五百円



小野副会長、日新小伊藤校長とパチリ!

### 日吉神社・神馬像の修復にたずさわって

6班 山本文志

日吉神社の神馬像の修復に取り掛かったのは平成28年7月だった。休日にならず作業を続け、すでに2年目に入った。現在は主に馬具、鞍や籠の修復をしている。



新嘗祭で披露された修復後の神馬



### 小動物の出没

町内各所で、タヌキ、アナグマ、ハクビシンの類が目撃されています。キジが、道路や宅地を横切るほど自然豊かな町内ですが、小動物による作物や池の金魚などの被害にはご注意ください。



内部の墨書

作業を始めて間もないころ、解体をしていて胴の内部に墨書を発見した。そこには「大正八年」に奉納されたこと。実に92年前のことになる。奉納した人たちの願い、受け継いできた人たちの思いがこの神馬像には宿っている。必然、心して丁寧に作業をしなければならぬと肝に銘じてきた。

夏の日、町内会館の前で、塗装した神馬を磨いていた時のことだ。通りすがりの老婦人が「ご苦労様」と声をかけてくれた。立ち止まり、神



### 夏祭り開催



今年も各部協賛により、夏祭りを開催しました。天気にも恵まれ、たくさんの方の参加と、楽しいイベントで盛り上がりました。

迫力のなまはげ太鼓、河辺芋んこクラブの楽しい唄と踊り、青年部の出店と、子供たちにはよい夏休みの思い出になったことでしょう。



鞍や籠の修復



神馬の補修作業中

馬に合掌して一礼する。「頑張っているのだからちゃんとご利益があるよ」と笑みを浮かべて立ち去った。敬虔な信仰心に触れ、私自身とても清々しい気持ちになったのを覚えている。「これがご利益」というようなエピソードはないのだが、今のところたいした病も得ず、日々つつがなく家族と過ごせることが、一番のご利益なのだろう。

沖田町イルミネーション  
 今シーズンも青年部の協力で  
**1月10日**  
 まで実施します

\*\*\*\*\*  
 < 訃報 >  
 小林幸雄さん(80歳) 21班 8月24日  
 山内利夫さん(81歳) 12班 9月9日  
 仙葉千恵子さん(79歳) 6班 9月13日  
 安藤 忠さん(73才) 8班 12月11日

謹んでご冥福をお祈りいたします。



なまはげ太鼓